



原動力は『楽しい』こと

保育士として働き始めて半年、サークルでの経験と保育士の仕事に共通点が多いことを感じます。サークルで、子どもとのかかわり方に悩んだこと、親御さんと何気ない会話の積み重ねで親しくなれたこと、手書きで新聞を書いたこと、お楽しみ会を企画したり、司会をしたりしたことなどは、現在、子どもや親御さんとかかわることや、クラスだよりを書くこと、行事の計画をすること、たくさんの子どもの向かって話をするなどなどに活きていると思います。現在も悩みは尽きませんが、サークル活動で学んだ「やりたくてやっている、楽しいからやっている」という気持ちを忘れずに、子どもとよりよくかかわれるように頑張っていきたいです。



大 学1年生の春、私は「毎週土曜日に子どもと公園で遊ぶ」なんて楽しそう、という思いから、国見セツルメントに入りました。入ってみると、土曜日の公園の他にも、活動のための話し合いをしたり、公園に来てくれる子どもに配る新聞を書いたり、お楽しみ会をしたり、学祭でおばけ屋敷をしたりと一年中盛りだくさんなサークルでした。盛りだくさんな分、仕事に追われてつらいときや悩むこともありましたが、しかしそれよりも、サークルで子どもと遊ぶことや、サークルの仲間と一緒にいることが楽しくてしょうがなく、あっという間に4年が過ぎたように思います。



所属サークル



国見セツルメント

三川町立みかわ
保育園・幼稚園 保育士

佐藤 みゆき

Miyuki Sato

平成20年度
学校教育教員養成課程
幼児教育専攻 卒業